



略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。42歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選(金沢区)。現在、公明党神奈川県本部企業団体局次長、学生局次長、金沢支部支部長。



リレー・フォー・ライフ

10月1日、臨港パークにて開催された、ガン撲滅・啓発のイベントへ。24時間、ガンと闘い続ける患者の皆さまを想い、24時間のウォーキングをリレーでつなぎ応援します。私も横浜市議員の有志で参加させて頂きました。

◀臨港パークにて



▲加藤副議長

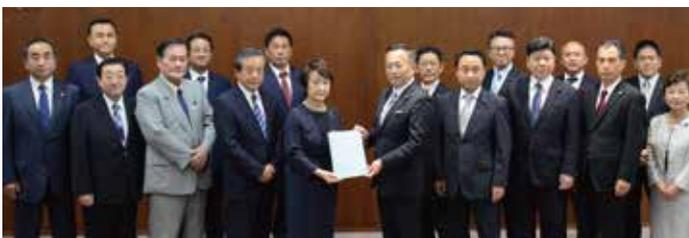
公明党金沢支部会を開催

10月12日、市大・カメラホールにて開催。平日の夜にも関わらず、200名近くの党員の皆さまにお越し頂きました。私からは、この1年半の活動を、あらためてご報告。加藤ひろと副議長(磯子区・党総支部長)からは、公明党議員団の実績の紹介、横浜の将来ビジョンについて、熱く語って頂きました。



▲私からは1年半の活動報告を

予算要望書を提出



▲林文子市長へ予算要望書を提出

10月18日、公明党市議団として、平成29年度予算編成に対する要望書を林文子市長に提出しました。要望書は、最重点要望62件、重点要望234件、各区重点要望80件の計376件で構成。「防災・減災・危機管理」「行財政運営」「文化・芸術」「子育て・青少年」「障がい者福祉」「高齢者福祉」「環境」「都市基盤整備」などに分類し、市政全般にわたる要望となっています。市長からは、小さな市民の声に寄り添う、公明党の政治姿勢への共感とともに、「同じ方向を向いて、力を合わせていきたい」との真情を語って頂きました。

「ハマ弁」を視察&試食

10月19日、公明党市議団で市立港中学校を訪問。今年7月から市内中学校で順次開始されている「ハマ弁」の視察へ。保管庫や生徒への受渡し、昼食の様子などを拝見。試食も行いましたが、温かいごはんやスープ、栄養バランスの取れたおかずも美味しかったです。弁当容器も持ち運びしやすいように作られ、見た目にも衛生面にも配慮した工夫がたくさん見られました。最後は、生徒たちへのインタビューも行い「満足!」との感想とともに、「おかずも温かければもっと良い」との貴重な意見も頂きました。



▲温かくておいしい!



▲教室では、ハマ弁、家庭弁当、業者弁当と、思い思いの昼食

平成27年度 決算特別委員会での論戦より

10月18日まで開催された第3回定例会会期中には、決算特別委員会も開催され、私も健康福祉局、教育委員会の局別審査で質問に立ちました。

決算特別委員会・局別審査
(市会インターネット中継より)



健康福祉局関連

▶金沢区の放射線対策

南部汚泥資源化センター（金沢区）に保管されている、放射線を含む下水汚泥焼却灰の安全性、管理方法について質問。周辺について、科学的・医学的見地からみて問題のない放射線のレベルであることを確認。副市長より、保管中の安全性について分かりやすく情報発信を行うとともに、今後の処分の方法なども含め、残された課題の解決に取り組んでいくとの答弁がありました。



▲南部汚泥資源化センターの下水汚泥焼却灰

▶患者死亡事件に伴う市の対応

大口病院の患者死亡事件について、メールでの事前の情報提供に対する市の対応の検証を求めるとともに、患者の安心のため、今できる対応を迅速に行うよう要望しました。

▶ヘルプマークについて

導入に向けての検討状況を確認。局長の答弁では、神奈川県議会でも導入方針を明確にしたことを受けて、改めて県と協議を進め、ヘルプマークの作成・配布や広報の方法についての役割分担等を詰めていくとの方針が示されました。



▲ヘルプマーク

教育委員会関連

▶防災ヘルメットについて

公明党の提案で26年度より市立小学校に支給している防災ヘルメットについて、使い勝手など学校現場の声に寄り添った対応を要望。教育長より「折り畳み式でないヘルメットの導入を検討しています」と、改善の方向性が示されました。



▲防災ヘルメット
(イメージ)

▶市立図書館の視覚障害者支援事業

録音図書を製作する図書音訳者の育成強化を要望。中央図書館長からは、10月から来年にかけて全15回の養成講座を行い、修了者には、平成29年度から、対面朗読や録音図書製作に携わって頂く予定との答弁がありました。

公明党 横浜市会ニュース「VOICEよこはま」より

小児医療費助成 小学6年まで拡大! 平成29年4月より

平成4年以来、公明党横浜市会議員団が一貫して制度拡充を求め続けてきた小児医療費助成制度。現在、横浜市では小学3年生まで通院医療費の自己負担が無料になる助成が行われています（入院医療費は中学3年生まで助成）。今回の条例改正で、平成29年4月より助成の対象が、小学6年生まで拡大されることが決まりました。

拡大される小学4・5・6年生については、1回の診察で上限500円の自己負担が求められますが、現状の医療保険制度の3割負担からは大幅に軽減されることになります。

しかし、今回の改正は私共が考える「中学3年生までの拡大」と「所得制限の撤廃」、「全額助成」の要望が達成されるまでのステップアップに過ぎないと考えています。「子育てしやすい横浜」を目指し、経済的負担の心配がなく、安心して必要な医療が受けられるよう、さらなる小児医療費助成制度の充実を図って参ります。

皆さまの声を お聞かせ下さい

FAX: 045-345-4345

たけのうち猛
オフィシャルサイト
takenouchi-takeshi.com



メルマガ登録は
こちらから!



空メールを
送信してください

事務所：富岡西3-38-1-101 E-mail: info@takenouchi-takeshi.com